

神戸小放課後子ども教室【西条市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 宿題中心の学習支援
- 余った時間で手芸・軽スポーツなどの豊かな体験活動
- 学年を超えた児童間の交流を深め、地域の大人ともコミュニケーションを図る

活動場所	神戸公民館	対象学校区名	神戸小学校	活動のべ日数	13 日	子どもの平均参加人数	20 人/日
------	-------	--------	-------	--------	------	------------	--------

取組の概要

<主な取組内容>

- まずは宿題をしよう
- 手先を使って作品を作ろう！
- 学年の違う仲間を作ろう
- 地域の大人と知り合いになろう！
- 地域行事に参加しよう！

	時間帯	活動内容
月	～	
火	～	
水	14:30 ～16:30	宿題と体験活動
木	～	
金	～	
土	～	

児童の感想

- ・今年の放課後子ども教室は、おやつや果物をみんなで食べたり、一緒に作ったりできて楽しかった。
- ・夏祭りがあって、公民館で盆踊りの練習もして 大人の知り合いができた。
- ・かご作りがおもしろかった。



(クッキー作りの手伝い)

<特色ある取組>

- 民生委員さんが中心の教室です。
教師経験者は昨年までおらず、今年度になって初めて1名参加されました。
月2回、水曜日に1～4年生対象の教室ですが、授業が終了する時刻が学年によって違うので、一齐に何かに取り組むことはできません。公民館に来た子供から宿題に取り組み、上の学年の児童が来るのを待ちます。
手芸では全員がクラフトかごを作ったり、軽スポーツや盆踊りの練習もしました。
サポーターさんは地域を愛する子どもに育ててほしくて活動されています。



宿題に取り組む様子

事業を実施して

【成果】

- 宿題だけでは早く終わった子供がじっとしていないので、今年からおやつタイムを設けた。自主的に手伝う子供や年下の子の面倒をみる子もおり、教室に通う子どもの間に仲間意識が芽生えた。
- 地域の事業に積極的に参加してくれ、公民館職員にも声をかけてくるなどコミュニケーションがスムーズにとれるようになった。

【課題】

- 参加希望者が多い(20名を超える)と、部屋が狭いし、教室で騒ぐ子供を制止できないことがある。
- 学習面ではプロではないので、忙しい親の代わりに見ている程度。
- 協力者や館の職員体制の都合で、土曜日の活動はできない。子供たちもスポーツ団体に所属していたり、塾があったりして活動できるのは平日の2時間位である。